

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野		農地等保全の地すべり対策			事業番号、事業名		1 地すべり対策		補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針			
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況						
1	あなん 阿南	アンカー工N=151本 杭打工N=42本 横孔ボ-リング工 L=1,283m 承排水路工L=1,200m 法枠工L=1,312㎡ 土止工L=249m 等 (工期:H19~H24)	法枠工A=230㎡ 承排水路工L=250m 土止工L=80m	法枠工A=190㎡ 横孔ボ-リング工 L=578m 承排水路工L=357m 土止工L=62m 等	法枠工A=190㎡ 横孔ボ-リング工 L=578m 承排水路工L=357m 土止工L=62m 等	評価時 (変更) H24	95.6%	順次緊急性の高い箇所から法枠工や土止工等を施工する。	観測調査結果により変状の鎮静化が見られたブロックについて、アンカー工や横孔ボ-リング工を減じた。今年度も引き続き緊急性の高いブロックから対策を実施し、平成24年度での概成を目指す。	平成24年度での概成を図る。	「縮小」			
	(阿南町)	2億4180万円	2550万円	1070万円	1070万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H22変更:法枠工A=400㎡増、杭打工N=43本減、等 H24変更:横孔ボ-リング工L=300m減、承排水路工L=500m減、アンカー工N=194本減、等 観測の結果、地すべり性の変状ではないことが確認されたブロック等について減工する。 B/C(費用対効果)=23.34 住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。							
2	いいたりゅうさい 飯田電西	アンカー工N=10本 横孔ボ-リング工 L=925m 承排水路工L=1,383m 土止工L=560m 法枠工A=1,165㎡ 等 (工期:H21~H25)	横孔ボ-リング工 L=600m 承排水路工L=500m 土止工L=300m	横孔ボ-リング工 L=400m 承排水路工L=280m 土止工L=37m 法枠工A=80㎡	アンカー工N=10本 横孔ボ-リング工 L=550m 承排水路工L=738m 土止工L=37m 法枠工A=379㎡ 等	評価時 (当初) H21	52.3%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から横孔ボ-リング工や土止工等を施工する。	家屋裏の急斜面が不安定化している箇所が多くみられ、地すべり被害拡大防止のため、早急な対策が必要である。 人家への危険があるブロックなど順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」			
	(飯田市)	1億7200万円	3500万円	1500万円	8200万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=13.66 住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。							
3	おおばた 大畑	承排水路工L=485m 横孔ボ-リング工 L=1,960m アンカー工N=44本 土止工L=89m 法枠工A=1453㎡ 等 (工期:H22~H26)	承排水路工L=100m 法枠工A=600㎡	横孔ボ-リング工 L=200m 承排水路工L=280m 土止工L=20m アンカー工N=13本 法枠工A=100㎡	承排水路工L=385m 横孔ボ-リング工 L=1,960m 土止工L=60m 法枠工A=853㎡ 等	評価時 (当初) H22	37.6%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所からアンカー工、法枠工等を施工する。	人家や農地や県道・村道を含む地すべりブロックの活動が確認されており、地すべり被害拡大防止のため早急な対策が必要である。 順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」			
	(泰阜村)	1億6500万円	4000万円	3500万円	1億300万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.55 住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の点検・維持管理が行われている。							
4	とうはら 塔の原	横孔ボ-リング工 L=2,340m 集水井工 1基 承排水路工L=177m 土止工L=55m 承排水路補修 L=913m (工期:H23~H27)	横孔ボ-リング工 L=330m	横孔ボ-リング工 L=1200m	横孔ボ-リング工 L=2010m 集水井工 1基 承排水路工L=177m 土止工L=55m 承排水路補修 L=913m 等	評価時 (当初) H23	11.5%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から横孔ボ-リング等を施工する。	集落や農地を含む地すべりブロックの不安定化が確認されており、中学校への被害も危惧されることから、早急に地すべり対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」			
	(安曇野市)	1億3000万円	1500万円	2900万円	1億1500万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=3.36 住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。							

分野	農地等保全の地すべり対策	事業番号、事業名	1 地すべり対策				補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
5	みなみむら 南村 (大田市)	集水井N=2基 横孔ボーリング工 L=3,250m 杭打工N=20本 排水路工L=1,300m 土止工L=100m等 (工期:H21~H25)	横孔ボーリング工 L=990m 集水井1基 排水路工L=346m	横孔ボーリング工 L=280m 排水路工L=110m	集水井N=1基 横孔ボーリング工 L=970m 杭打工N=20本 土止工L=100m 排水路工L=886m等	評価時 (当初) H21	63.1%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から集水井工を施工する。	地区の上部ブロックでクラック等の変状が発生し、南村沢川閉塞による人家や農地への被害が危惧されており、地すべり被害拡大防止のため早急な対策が必要である。 追加指定を行った緊急性の高いブロックから順次対策を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		2億300万円	6900万円	2100万円	7500万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=2.57 住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				
6	やまが 八坂 (大田市)	横孔ボーリング工 L=7910m 排水路工L=1,520m 堰堤工L=3基 (工期:H23~H29)	調査・設計 1式	横孔ボーリング工 L=1050m 排水路工L=150m	横孔ボーリング工 L=7910m 排水路工L=1,520m 堰堤工L=3基	評価時 (当初) H23	15.0%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から横孔ボーリング工や排水路工等を施工する。	農地やため池、県道を含む地すべりブロックの活動が確認されており、地すべり被害拡大防止のため、早急な対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億円	4500万円	3000万円	2億5500万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=2.36 住民参加状況等 地域内で地すべり委員会を選定し、現状確認・整理・要望を行っている。				
7	せはらだ 瀬原田 (長野市)	杭打工 N=37本 横孔ボーリング工 L=2,683m 排水路工 L=474m 土止工 L=270m (工期:H18~H24)	横孔ボーリング工 L = 261m 土止工 L=72m 排水路工 L= 73m	横孔ボーリング工 L = 88m 土止工 L=93m	横孔ボーリング工 L = 88m 土止工 L=93m	評価時 (変更) H23	97.0%	平成22年度に新たに発生した地すべりへの対策として、横孔ボーリング工や土止工を施工する。	平成22年7月発生豪雨により犬石工区で新たに発生した地すべりへの対策として横孔ボーリング工等の整備を実施し、平成24年度概成を図る。	平成24年度での概成を図る。	「継続」	
		1億8140万円	2600万円	540万円	540万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H23変更 平成22年7月豪雨により新たに発生した地すべり対応 ・横孔ボーリング工 L= 200m増工、土止工 L= 185m増工 ・事業費:2,900万円増額 ・工期:2カ年延長	B/C(費用対効果)=10.97 住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				
8	まつば 松葉 (長野市)	横孔ボーリング工 L=740m 排水路工L=331m 法面保護工A=2,000m ² アンカー工N=56本等 (工期:H21~H25)	横孔ボーリング工 L=240m アンカー工 N=43本 排水路工 L=49m	排水路工 L=201m	横孔ボーリング工 L=500m 排水路工L=221m 法面保護工A=400m ² 等	評価時 (当初) H21	82.8%	計画どおり進んでいる。 舞台沢集落上部斜面への対策が完了し、順次緊急性の高い箇所から横孔ボーリング工やアンカー工を施工する。	家屋周辺部で発生している地すべり等の順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		1億8600万円	6600万円	2000万円	3200万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=4.97 住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				

分野		農地等保全の地すべり対策		事業番号、事業名		1 地すべり対策		補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況					
9	ながいけ 長岩 (長野市)	排水路工L=208m 横孔ボーリング工 L=270m 土留工L=57m 法面工A=1220㎡ 杭打工N=38本 アンカー工N=12本 等 (工期:H22~H26)	排水路工L=70m 法面保護工A=730m2	横孔ボーリング工 L=150m 土留工L=30m 法面保護工A=40m2 杭打工N=13本 アンカー工N=12本	排水路工L=138m 横孔ボーリング工 L=120m 土留工L=42m 法面工A=290㎡ 杭打工N=25本 等	評価時 (当初) H22	28.3%	計画どおり進んでいる。 最緊急箇所である集落上部の地すべり対策 として、アンカー工や杭打工を施工する。	地域の生活道路として 重要な市道を含む地す べりブロックの活動が確 認されており、地すべり が拡大すれば、農地や 人家への被害も懸念さ れるため、早急な対策が 必要である。	重要性が高く、緊急性も 認められる。	「継続」		
		1億4500万円	3200万円	3630万円	1億400万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=1.96	緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管 理が行われている。			
10	てんくさしざわ 天間声沢 (長野市)	排水路工L=660m 横孔ボーリング工 L=3025m 土止工L=101m 床止工N=3基 横孔ボーリング工(改 良)L=1425m (工期:H23~H27)	調査設計 1式	排水路工L=185m 横孔ボーリング工 L=445m 床止工N=3基	排水路工L=660m 横孔ボーリング工 L=3025m 土止工L=101m 床止工N=3基 横孔ボーリング工(改 良)L=1425m	評価時 (当初) H23	10.0%	計画どおり進んでいる。 最緊急箇所である集落周辺の地すべり対策 として、排水路工や床止工を施工する。	地域の生活道路として 重要な市道を含む地す べりブロックの活動が確 認されており、地すべり が拡大すれば、農地や 人家への被害も懸念さ れるため、早急な対策が 必要である。	必要性、重要性が認めら れる。	「継続」		
		1億円	1000万円	2900万円	9000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=9.03	緊急性 B	住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管 理が行われている。			
11	なしくぼ 梨久保 (中野市)	排水路工L=3,711m 横孔ボーリング工 L=2,800m 集水井工N=2基 アンカー工N=109本 土止工L=120m 等 (工期:H20~H25)	排水路工L=570m 横孔ボーリング工 L=350m 土止工L=40m	排水路工L=815m 横孔ボーリング工 L=20m	排水路工L=2,811m 横孔ボーリング工 L=805m 集水井工N=2基 アンカー工N=45本 土止工L=40m 等	評価時 (当初) H20	63.5%	計画どおり進んでいる。 緊急性の高い箇所より順次排水路工や横孔 ボーリングといった対策工を実施している。	人家や農地、市道を含 む地すべりブロックの活 動が確認されており、地 すべり被害拡大防止の ため早急な対策が必要 である。 順次緊急性の高い箇 所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、 緊急性も認められる。	「継続」		
		3億6400万円	3000万円	1000万円	1億3300万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=3.75	緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。			
12	かみざかい 上境 (飯山市)	排水路工L=2,140m 横孔ボーリング工 L=2,410m 土止工L=220m 集水井工N=2基 等 (工期:H21~H25)	排水路工L=430m 横孔ボーリング工 L=250m 法面工A=900m2	排水路工L=330m 横孔ボーリング工 L=650m	排水路工L=1,004m 横孔ボーリング工 L=1,845m 土止工L=220m 集水井工N=2基 等	評価時 (当初) H21	46.5%	計画どおり進んでいる。 緊急性の高い箇所から排水路工等を施工す る。	市道や農地を含む地す べりブロックの活動が確 認されており、地すべり 被害拡大防止のため早 急な対策が必要である。 順次緊急性の高い箇 所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、 緊急性も認められる。	「継続」		
		2億円	5000万円	2200万円	1億700万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=6.61	緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。			

分野		農地等保全の地すべり対策		事業番号、事業名		1 地すべり対策		補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況					
13	ななせ 七瀬 (中野市)	排水路工L=900m 横孔ボーリング工 L=3,320m 土止工L=220m 等 (工期:H23~H27)	排水路工L=200m 横孔ボーリング工 L=300m	排水路工L=150m 横孔ボーリング工 L=300m	排水路工L=700m 横孔ボーリング工 L=3,020m 土止工L=220m 等	評価時 (当初) H23	13.3%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から横孔ボーリング 工や排水路工等を施工する。	人家や農地を含む地す べりブロックの活動が確 認されており、地すべり 被害拡大防止のため、 地区の追加指定と早急 な対策が必要である。 緊急性の高い箇所から 対策を実施する。	重要性が高く、必要性、 緊急性も認められる。	「継続」		
		1億5000万円	2000万円	1000万円	1億3000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=4.36 住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。						
14	とよだ 豊田 (中野市)	排水路工L=1,242m 横孔ボーリング工 L=1,920m 土止工L=320m 等 (工期:H23~H27)	排水路工L=262m 横孔ボーリング工 L=125m 土止工L=49m	排水路工L=400m 横孔ボーリング工 L=210m 土止工L=15m	排水路工L=980m 横孔ボーリング工 L=1,795m 土止工L=271m 等	評価時 (当初) H23	13.3%	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から横孔ボーリング 工や排水路工等を施工する。	農地や集落を含む地す べりブロックの活動が確 認されており、地すべり 被害拡大防止のため早 急な対策が必要である。 順次緊急性の高い箇 所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、 緊急性も認められる。	「継続」		
		1億5000万円	2000万円	1970万円	1億3000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=4.12 住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。						
合計	14箇所	26億8820万円	4億8350万円	2億9310万円	13億7210万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満					